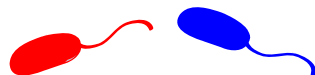


(参考) 家畜における薬剤耐性菌の選択

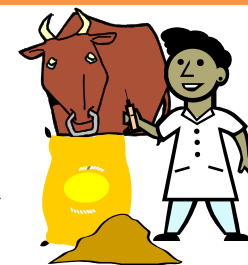
1. 薬剤耐性菌とは？



- 抗菌性物質を使用すると、その抗菌性物質に感受性を持つ(その抗菌性物質が効く)細菌の増殖が抑制されます。
- 「薬剤耐性菌」とは、抗菌性物質に抵抗性を持つ(その抗菌性物質が効かない)細菌のことです。

2. 家畜への抗菌性物質の使用と薬剤耐性菌

- 抗菌性物質を家畜の病気の治療に使ったり、健全な発育促進のために飼料に添加したりすると、その抗菌性物質に感受性を持つ細菌が増殖できない一方、薬剤耐性菌は生き残って増えることがあります。これを「薬剤耐性菌が選択される」と言います。



3. 薬剤耐性菌の人への影響

- 薬剤耐性菌が食品等を介して人に伝播し、高齢者等の免疫力が低い人に感染した場合、治療のために服用した抗菌性物質が十分に効かない可能性があります。そのため、食品安全委員会が行う人の健康影響評価等に基づき、家畜への使用時期を限定する等の対策を実施しています。

4. 薬剤耐性菌の選択を防止するための措置(例)

- 抗菌性物質の承認の際に、家畜への使用が人の健康に影響を与える可能性の大きさに応じて、承認しなかったり、対象とする病気を限定したり、第二次選択薬として使用することとしています。
第二次選択薬…ある疾患に対して、最初に投与すべき治療薬(第一次選択薬)を投与しても効果が見られない場合に、次に使用される治療薬のこと。
- すでに承認されている抗菌性物質についても、人の健康に影響を与える可能性が高くなった場合には、対象とする病気をさらに限定したり、家畜での使用を取りやめたりします。